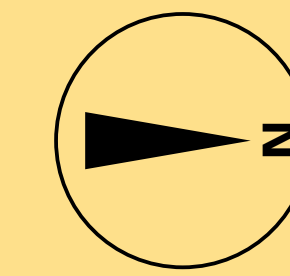


伊達氏ゆかりの梁川

歩きたくなる まっふ



- 【凡例】
- お食事
 - サクラの名所
 - 名所旧跡
 - 学校・児童施設
 - 健康遊具

200 400m

写真スペース

① (/) まで掲示

② (/) まで掲示

③ (/) まで掲示

⑥ (/) まで掲示

⑤ (/) まで掲示

④ (/) まで掲示

梁川地区の見どころ

No.	名 称
1	栗野地藏尊 「栗野地藏様」と呼ばれ、延命・子授けのご利益があるとされ、昔から信者が多い。この地の茶屋で大師の飲み残した茶の泡を飲んだ娘が妊娠出産。子供が三歳になった折、出羽遊行の帰りに再び訪れた大師は、その子を再び泡に戻し、子供の追福のため地藏を刻んだのが「泡の地藏」で、後に「栗野地藏」になったとも伝えられています。
2	古町観音堂 信達三十三観音巡礼の第三十番札所。文明 17 年（1485）の再建と伝えられています。
3	称名寺 梁川藩主松平出雲守 3 万石の菩提寺。境内の大イチョウは樹高、約 30 メートル、幹周り 6.2 メートルの雄の大イチョウ。 天正 10 年（1582）寺が創建された当時からすでにあったと伝えられる。
4	本覚寺 楼門は、二階建て、四脚門形式で入母屋作り。軒垂木や蛙股、妻飾り、破風等の細工は、高度な技術を駆使していて、風格が感じられます。境内には、かつて養蚕技術書「養蚕精義」を著した中井閑氏の墓があります。
5	梁川城跡 築城は 13 世紀のはじめの伊達氏 3 代義広から 4 代政依の頃と考えられている。それ以後、稲宗が天文元年桑折西山城に移るまで伊達氏の府城として発展に大きな役割を果たした。本丸庭園に「心字の池」を配するなど、往時の伊達氏の勢力と文化の高さを示している。
6	臥龍山興国寺 上杉氏の若松移封により梁川城代となった須田大炊介長義が旧地の信濃国須坂の興国寺より住持誓岩和尚を招き、慶長 7 年、現在地に曹洞宗「臥龍山興国寺」として建立し開山した。
7	天神社 社伝によると永観年中（983）、伊達家遠祖山陰中納言政朝が北郭に社殿を建て、菅原道真公の御霊を勧請し、天満宮と号した。社殿が現在地に移ったのは、天正 4 年（1576）15 代晴宗の代である。
8	梁川八幡宮 梁川八幡宮由緒によると永観年間（983～985）に鶴岡八幡（石清水八幡）を勧請し、伊達氏の氏神、伊達領の総鎮守として 崇 敬されたと伝えられています。
9	龍寶寺 奈良時代に長谷寺開山の徳道上人の弟子、空道上人が開いたといわれている。鐘楼も茅葺屋根で、大変趣のある建築物。観音堂は、文明 3 年（1471）に伊達成宗が再建し、鬼石観音ともいわれ信達三十三観音巡礼の第三十三番結願札所、現観音堂は享保 3 年（1713）の建立である。